

”新宿の 広告景観の未来“

を
考
え
る

新宿区には、個性豊かで多様なまちに多くの区民が生活し、国内外からもたくさんの方々が訪れています。日本を代表する商業地・観光地でありながら、多くの歴史・文化・自然の景観資源、多様なライフスタイルに対応した住居環境、良好な業務環境等を有する新宿区において、屋外広告物は景観形成上の大きな要素となっています。

二〇二〇年に東京でのオリンピック・パラリンピックの開催が決まりました。新宿区は、広告景観を考えたまちづくりを進め、区内に住む多くの区民、新宿を訪れる世界の人たちが気持ちよく過ごせる都市を目指します。今回のワークショップでは、区民の皆様と、「新宿の」広告景観の未来を考える”をテーマに、屋外広告物と景観の望ましいあり方について考えてまいります。

日時

平成26年3月15日(土)

18時30分～21時(開場18時)

会場

新宿区立大久保地域センター

4階多目的ホール(新宿区大久保2-12-7)



定員

100名(申込不要・先着順)

参加費

無料(参加の方は当日直接会場へ)

お問い合わせ

新宿区都市計画部景観と地区計画課
電話: 03-5273-3831(景観担当)

新宿区の景観まちづくりの取り組み

新宿区は、平成20年7月に都心区初となる景観法に基づく景観行政団体となり、平成21年4月から「新宿区景観まちづくり計画」の運用を開始しました。また、新宿区内全域を72エリアに分け景観形成の特性や目標等を詳細に示した「新宿区景観形成ガイドライン」を策定するなど、新宿区独自の施策と併せ、景観まちづくりの推進に取り組んでおります。

また、まちの景観特性をいかしたより良好な景観の保全・創出を図るため、平成24年4月から「屋外広告物の景観誘導推進」事業を開始し、現在、屋外広告物に関するガイドラインなどの検討を進めております。

新宿の“広告景観の未来”を考える

●日時

平成26年3月15日（土）
18時30分～21時（開場18時）

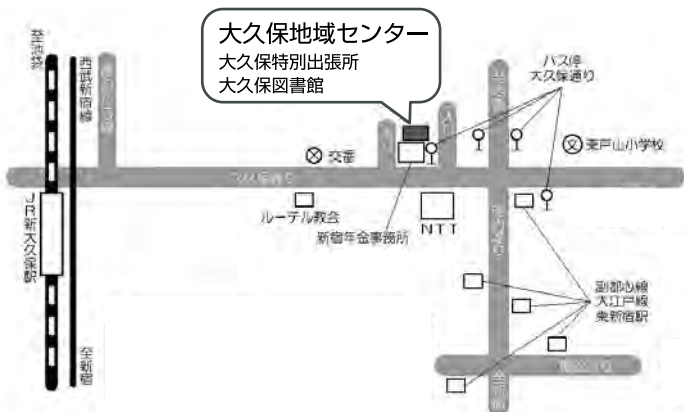
●会場

新宿区立大久保地域センター
4階多目的ホール（新宿区大久保2-12-7）

●交通のご案内

JR山手線 新大久保駅徒歩8分
東京メトロ副都心線 東新宿駅エレベーター口徒歩3分
都営地下鉄大江戸線 東新宿駅徒歩8分
※駐車場がございませんので、公共交通機関をご利用ください

●会場地図



●プログラム

18:00 開場
18:30 開会
18:35 第1部：パネリストによる講話
テーマ：
“広告景観”の意義と近年の取り組み
20:05 ～ 休憩 ～
20:15 第2部：参加者とパネリストとの質疑応答
テーマ：
新宿の“広告景観の未来”を考える
21:00 閉会
※プログラムは変更になる場合があります

●お問い合わせ

新宿区都市計画部景観と地区計画課
電話：03-5273-3831（景観担当）

●パネリスト/コーディネーター（順不同・敬称略）



パネリスト

宮沢 功（みやざわ いさお）

公益社団法人日本サインデザイン協会
常任理事

1941年東京都出身。現在、NPO法人景観デザイン支援機構代表理事、ヨシモトポール株式会社顧問、日本サイン学会副会長、NPO法人日本デザイン協会副理事長。専門はサイン、ストリートファニチュアなど環境デザイン。富山市内環状線トータルデザインなど。



パネリスト

武山 良三（たけやまりょうぞう）

公益社団法人日本サインデザイン協会
常任理事

1956年大阪府出身。現在、富山大学芸術文化学部学部長、日本サイン学会会長。全日本屋外広告業団体連合会学術顧問、『signs』編集長。専門はソーシャルデザイン。景観まちづくりの調査研究や提案など。



パネリスト

定村 俊満（さだむら としみつ）

公益社団法人日本サインデザイン協会
会長

1951年福岡県出身。現在、株式会社ジーエータップ代表取締役社長、山口大学工学部非常勤講師。専門は情報デザイン、ユニバーサルデザイン。福岡市の七隈線トータルデザインなど。



コーディネーター

竹内 誠（たけうち まこと）

公益社団法人日本サインデザイン協会
副会長

1961年岡山県出身。一級建築士。現在、株式会社竹内デザイン代表取締役、東洋美術学校講師。専門は情報環境デザイン。石川県野々市町の新庁舎や赤坂サカス、東急電鉄渋谷駅のサインデザインなど。